

令和4年度 第1回 横浜市芸能センター指定管理者選定評価委員会 会議録

- 1 日 時 令和4年8月29日（月）午後2時53分から午後4時38分まで
- 2 場 所 横浜にぎわい座小ホール（のげシャール）
- 3 出席者 垣内 恵美子 委員、加世田 恵美子 委員、廣瀬 哲也 委員、吉永 崇史 委員
- 4 欠席者 無し
- 5 傍聴者 無し

6 議事内容

議題	1 令和3年度業務評価
委員意見等	<p>1 委員長の選出 委員の互選により、垣内委員を委員長に選出した。</p> <p>2 定足数の確認 委員数4名のうち4名の出席により定数を充足しており、会議の成立を確認した。</p> <p>3 本委員会の公開・非公開について 横浜市の保有する情報の公開に関する条例第31条及び横浜市芸能センター指定管理者選定評価委員会運営要綱第9条に基づき、公開とした。</p> <p>4 審議事項「令和3年度業務評価」</p> <p>(1) 評価関係資料について</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 評価資料及び評価方法の確認 事務局から、評価に使用する資料、評価方法について説明があった。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 指定管理者業務実績及び自己評価について 指定管理者から、令和3年度の文化事業、施設運営、維持管理及び収支決算などについて、実績及び自己評価についての説明があった。</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 行政評価について 評価表に基づき、事務局から行政評価について、要点の説明があった。</p> <p>(2) 指定管理者へのヒアリング、評価・改善点の説明 委員から指定管理者に対する質疑及び評価内容（評価する点、更なる取組を期待する点）の説明を行った。</p> <p>《評価内容の説明》 「I文化事業①②」について</p> <p>《質疑》 委員 団体観覧の申込みの回復がなかなか見込めないと書かれているが、どの程度落ち込んでいるのか。回復の見込みについても伺いたい。</p>

指定管理者 コロナ禍以前は年間70から80団体ぐらいでしたが、令和2年度は11件、昨年度は10件、今年度は7月までで6件とかなり減ってきております。最近問合せは増えてきており、10月の寄席に大口の申込みをいただきました。

委員 昨年度の総利用者数について伺いたい。

指定管理者 昨年度の総利用者数は延べ66,889名で、令和2年度の約43,000名比較して約1.5倍の増加となりました。

【評価する点】

- ・コロナ禍において達成指標を越える公演数・入場者数を実績として達成され、本当に素晴らしい実績を残されている。
- ・実力ある若手を登用している公演数は39公演もされているし、のげシャレーのほうでの若手登用というところでも予定数以上やっつけらっしゃるということで、育成の場を潰さなかったというところは本当に評価したい。
- ・電子根多帳というのは、私もホームページでこのたび初めて言葉を見たので、拝見させていただきました。開場以来の公演情報を掲載しているというのも大変素晴らしいことだと思いました。出演者の経歴とか演目解説まで載っているというのは驚きました。大変素晴らしいと思います。

【更なる取組を期待する点】

- ・電子根多帳が活用されるように、ホームページの掲載方法を工夫してほしい。
- ・にぎわい寄席のチラシについて、色が薄く高齢者には読みにくいと感じたので、文字に黒を使用するなど、予算面も含めて検討をお願いしたい。

「Ⅱ施設運営」及び「Ⅲ維持管理」について

《質疑》

委員 芸能ホールと小ホールそれぞれの貸館件数を伺いたい。

指定管理者 芸能ホールは、全体の稼働率が68%となっていますが、貸館稼働日に対しては30%（利用可能日153件に対して46件）という状況です。

委員 デジタルデータを取り扱うことが増えていると思うが、個人情報保護についてスタッフの周知徹底をどのように行っているか伺いたい。

指定管理者 個人情報を扱う職員を限定しているほか、チケット販売システムを導入するなど安全にデジタルデータを運用できる環境を整えています。財団全体としても個人情報保護には力を入れており、毎月研修を行っています。

委員 高齢者の来場が多いなか、バリアフリー化が重要になると思うが、何か方針があれば伺いたい。

指定管理者 エレベーターや車椅子動線など基本的なところはクリアしていますが、それに加えてサービス介助士のスタッフを配置して対応に活かしています。

委員 認知症の方が増えてきている中で、研修などは受けられているのか。

指定管理者 別の施設では文化施設における認知症のお客様への対応研修があったので、こちらでも検討したいと思います。

委員 多種多様なものをやろうとすると専門性が必要で内部の人材だけで充足

できなくなると思います。メインターゲットの人材を集めて、育てていくことになると思いますが、何か工夫されている点や課題点があれば伺いたい。
指定管理者 財団全体として専門人材研修に取り組んでいる。テーマを設定して行っているが、専門性を特化するには幅広く舞台芸術全体を理解し、顧客心理を理解したうえで専門分野を深めることが求められていると思う。

【評価する点】

- ・記載のとおり

【更なる取組を期待する点】

- ・記載のとおり

「IV収支」について

《質疑》

委員 高熱水費について、電気料金とガス料金が上がると思う。この点は不可抗力だと思うが、どう考えているか。

市 高熱水費について社会的状況から指定管理施設全体で同じ問題が起きています。市としても状況を把握しながら、今後の対応を考えているところです。

委員 公演表方チーフについて、どのような効果があったのか伺いたい。

市 自主公演のチーフについて、以前は職員がその任を担っていましたが、5時間近く拘束されていました。アルバイトに手当を出す形で任せ、職員の負担を軽減するとともに、公演実施のスキルが蓄積されています。

委員 コロナ禍に経費を削減して対応してきたが、今後稼働が増えれば必要経費も増えていくと思うが、この点については収支的に大丈夫なのか伺いたい。

市 稼働が増えれば高熱水費や舞台技術費等も増えるため、興行収入の回復を見極めながら現実的な運営を考えていきます。

【評価する点】

- ・自主事業収入について、厳しい状況のなかでも他の施設と比較して大きく、企画公演の収入が非常に大きいと考えられる。

【更なる取組を期待する点】

- ・貸館公演と自主事業公演のチラシが見分けがつかないので、この点で工夫が必要ではないだろうか。

「総括」について

《質疑》

委員 コロナ禍でこれまで課題だったものが鮮明に浮かび上がったものがあれば、伺いたい。

指定管理者 幅広い大衆芸能の演目のなかで、券売を考えると寄席芸とりわけ落語が中心になってしまいます。若手の育成やほかの芸能を守るサポートもできなくなるので、工夫が必要だと思います。

【更なる取組を期待する点】

- ・アウトリーチについては費用面の課題は理解しつつも、例えば小学校の総合学習など機会をとらえて今後も実施を期待したいです。
- ・公演186回を実施し1回当たり116名入場という実績は、コロナ禍において素晴らしい。地域連携等いろんな形で努力しているのがよく分かりました。
- ・人気のある演芸を手堅くやっていけば収支のバランスはとれるだろうが、にぎわい座の存在意義や若手演者の人材育成がままならなくなるというジレンマが生まれると思います。この課題については考えているだけでは前には進まないの、ぜひ挑戦していただきたいと思います。

3 まとめ

本日の委員会で確認した内容を踏まえ、各委員は評価シートを改めて清書し、事務局で調整の上、委員会の最終評価内容としてまとめることとする。